



岐阜県 安全・安心まちづくり情報

～ 第10号 ～ (平成24年7月)

「岐阜県安全・安心まちづくり情報」第10号をお届けします！

平素は「安全・安心まちづくり県民運動」にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

(今号の記事内容)

- 県内の犯罪情勢（上半期）について
- ブロック別防犯ボランティアフォーラム（中部ブロック）に参加しました
- 地域で活躍のお仲間を紹介します
西緑防犯（各務原市）

安全・安心まちづくり県民運動 ～自分の地域の安全は、自分たちで守る～

岐阜県 環境生活部 環境生活政策課 地域安全室 地域・交通安全係
〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

Tel 058-272-8205

Fax 058-278-2605

e-mail c11260@pref.gifu.lg.jp

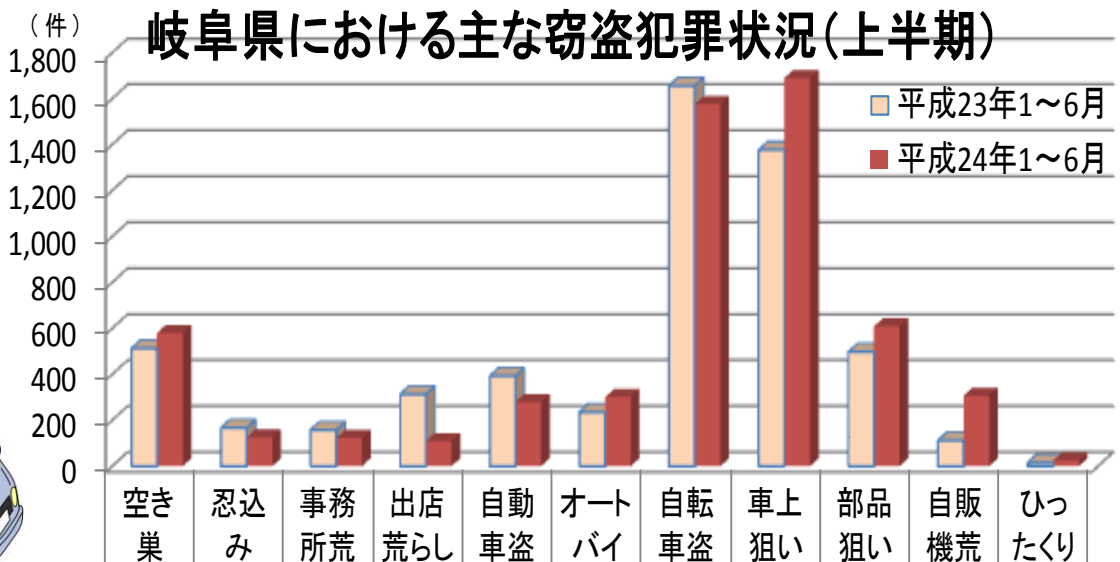
http://www.pref.gifu.lg.jp/bosai-bohan/bohan/hanzai-zero-machi/

県内の犯罪情勢(上半期)について 【統計値:岐阜県警察資料(暫定値)】

岐阜県における平成24年上半期の犯罪認知件数は12,001件で、前年対比130件(1.1%)増加しました。特に、窃盗犯罪では、空き巣、オートバイ盗、車上狙い、カーナビなどを狙った部品狙い、自販機荒らしが目立って増加しています。犯罪者が嫌がるのは「地域の人目」です。不審だと思ったら声を掛けて犯罪抑止につなげましょう。



岐阜県における主な窃盗犯罪状況(上半期)



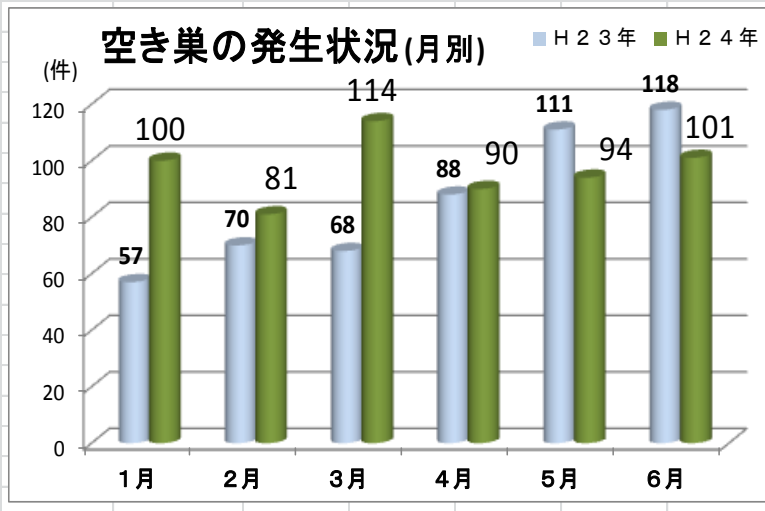
平成23年1～6月	512	167	158	313	392	235	1,656	1,376	497	112	15
平成24年1～6月	580	125	122	109	279	300	1,575	1,690	608	307	25
増減数	68	-42	-36	-204	-113	65	-81	314	111	195	10
増減率	13.3%	-25.1%	-22.8%	-65.2%	-28.8%	27.7%	-4.9%	22.8%	22.3%	174.1%	66.7%

- **空き巣** 約13%増加
- **車上狙い** 約23%増加
- **自動販売機荒らし** 約174%増加
- **オートバイ盗** 約28%増加
- **部品狙い** 約22%増加

空き巣対策について

【統計値：岐阜県警資料（暫定値）】

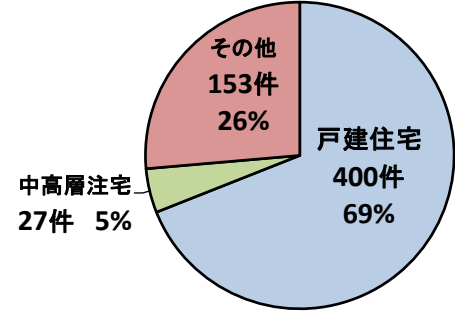
県内の空き巣被害は、岐阜市内が全体の 26.3%を占めており、各務原市内が 8.3%、大垣市内 6.9%と全域にて発生しています。



・空き巣の被害場所

一戸建て住宅における被害は、全体の約70%を占めています。

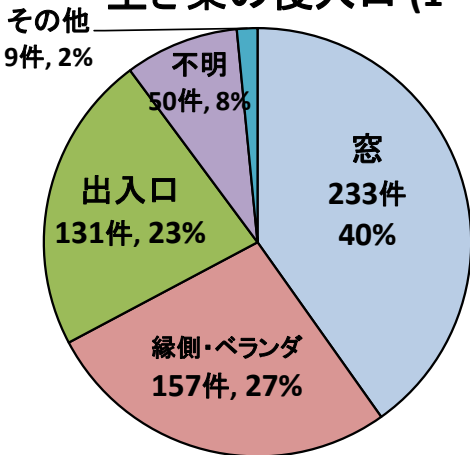
空き巣の被害場所(1~6月)



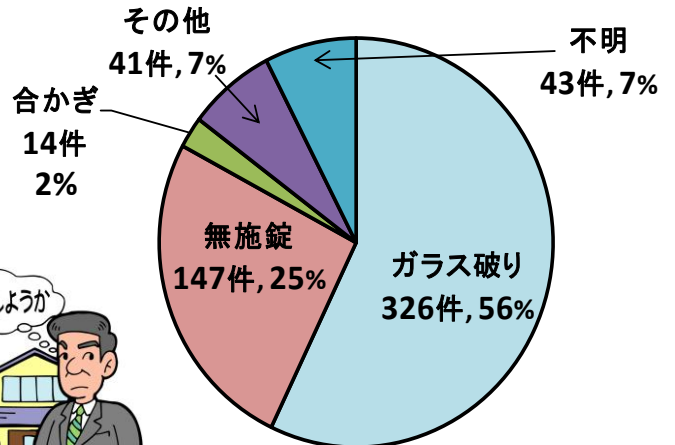
・空き巣の侵入口、侵入方法

侵入口は窓からが全体の41%と最も多く、侵入方法はガラス破りが57%を占めています。

空き巣の侵入口(1~6月)



空き巣の侵入方法(1~6月)



●泥棒を遠ざける対策「4原則」

①「目」～顔や姿を見られる～

泥棒は下見をします。日頃から、地域のパトロール活動や挨拶をすることで、不審な人物や動向に気がつきやすくなります。

②「時間」～建物の中に入るのに、時間がかかる～

泥棒は、侵入するのに5分以上かかるとあきらめるといわれています。補助錠などで2重ロックや防犯フィルムなどを活用してください。

③「音」～警報音など突然の大きな音がでる～

防犯アラームやチャイムの鳴るセンサーの利用や、庭や家の外周に玉砂利を敷くことも効果があります。

④「光」～明るく照らされたり、人影を映し出される～

センサーライトや防犯カメラの設置が効果的です。



※ ゴミ出しなどちょっとした外出でも必ず施錠し、足場となる様な物を置かないようにしましょう。

ブロック別防犯ボランティアフォーラム(中部ブロック)に参加しました。

先日、先進的な活動を行っている防犯ボランティア団体の活動発表、意見交換会等を地域ごとに行う「ブロック別防犯ボランティアフォーラム」(警察庁主催)に出席しました。当県からは、朝日大学の学生で構成される防犯ボランティア団体「めぐる」(岐阜県瑞穂市)が代表として発表されましたので、ご紹介します。



めぐる

警察庁による「若い世代の参加促進を図る防犯ボランティア支援事業」をきっかけに、平成 22 年 7 月 1 日、朝日大学法学部の学生を中心に結成されました。この「めぐる」という団体名は、「見回り(パトロール)」を意味するとともに、「熱い思いをめぐらせ、地域を駆けめぐり、やがて、その思いが世代を超えて後世にめぐってほしい」というメンバーの思いが込められています。

平成 24 年 4 月末現在、20 名の学生が在籍し、官学連携による活動を展開しています。

【活動(事業)内容】

○防犯パトロール

・散歩レンジャー

徒歩によるパトロールを意味し、主に環境美化と危険箇所点検を目的に行っています。把握した情報は、集約・分析して 1 枚の地図に落とし、事後のパトロールに活用しています。

・青色防犯パトロール活動

週 1 回、瑞穂市役所職員運転の青色回転灯装備車両(通称 青パト)に乗車し、市内全 7 校の小学校通学路を中心に、児童の下校時間帯に合わせて、巡回しています。

○防犯啓発活動

毎月 1 回、銀行、鉄道駅、ショッピングモール等において防犯啓発活動を行っています。自治体や警察だけでなく、地元の防犯ボランティア、高校生で形成される「MSリーダーズ」とも連携を図るなど、防犯活動だけでなく幅広い年齢層の方々との交流も大切にしています。

○防犯教室

子どもを狙った凶悪事件の発生に備え、子どもたち自身の危険回避能力を高めることを目的に「防犯教育」に取り組んでいます。主に、騒音測定器を活用した大声出し訓練、不審者に捕まらないための 20メートルダッシュ訓練など、常に工夫した防犯教室を展開しています。



【活動の効果及び今後の目標】

活動に対する地域住民の認知度は次第に高まり、他団体の活動意欲を高める刺激になっているほか、大学生の規範意識の向上にも繋がってきています。「めぐる」の目標は、安全で安心な地域社会の実現です。活動の輪を広めていきたいと考えています。

地域で活躍のお仲間を紹介します！

西緑防犯

活動地域:各務原市蘇原緑町及び蘇原月丘町
活動人数:12名 (平成 24年6月1日現在)
(代表の宮部直治さんにお伺いました。)

【活動を始められたきっかけ】

町内に一時期空き巣が多発して話題になっていた頃、市の広報紙に「防犯ボランティア募集」の記事が掲載されていました。緑町のみなさんに声をかけたところ、9名(男性7名、女性2名)の賛同を得られたため、早速応募して平成22年2月に「西緑防犯」の結成となりました。

【活動されている地域の特徴】

JR高山本線と名鉄各務原線に挟まれた住宅地です。高齢化が進んでいます。

【主な活動内容】

1 防犯パトロール

月2回 第1・第3木曜日に、参加できる方(約8~9人)で2つのコースに分かれ、2町内を徒歩によりパトロールを行っています。

また、併せてゴミ拾いを行うなど、環境美化活動も行っています。

2 情報交換の場の提供

パトロール終了後、町内の方の家の一室を「町の駅」として提供いただき、町内の最近の話題などの情報交換を行っています。

また、月1回お年寄りの集会のお世話の役も担っているなど、地域の絆づくりも行っております。

3 児童みまもり活動

毎日、児童の登下校時に5名程度で見守り活動を行っています。



【活動において工夫している点】

気楽に参加できるよう強制はしません。

<心構え>

- ・防犯活動はもとより、どなたにも大きな声で挨拶をする。
- ・地域の方々とのコミュニケーションを大切に、絆を深める。
- ・お年寄りへの気配り・声掛け等をする。(地域にお年寄りが多い)。
- ・地域発展の活動には積極的に参加し「どなたのためでもない・自分のため」と心掛けています(ボランティア精神)。

【活動を続けて良かったこと】

母体はなく、手作りの完全自主組織ということで、行政等の支援がなかったことが、いろんな事を仲間でも話し合っで決めることに繋がり、絆が深まりました。また、結成のきっかけとなった、空き巣も減り、ゴミを拾うことで、ゴミを捨てる人が減るという相乗効果もあったと思われます。

町内の人にも少しずつ感心を持ってもらえるようになり、子どもたちからも、お礼のお手紙を貰いました。

【これからの目標や課題】

メンバーのほとんどが60歳代以上であるため、活動面でいろいろ支障があり、先細り気味で心細く思っています。仲間をどのように増やしていくかが課題だと思います。

皆さまの活動の様子を紹介させていただいております。
活動状況についての情報をお待ちしております。

